

未来社会を支える新材料・新技術

主催：一般社団法人日本ゴム協会
 協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、日本接着学会
 (予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会、
 マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、日本レオロジー学会 (順不同)

第52回夏期講座を来る7月24日・25日の2日間、「かながわ労働プラザ」で開催いたします。今回は「未来社会を支える新材料・新技術」をテーマに各分野の第一線でご活躍の講師の方々をお招きいたします。特に、今回は主に企業の研究者・技術者の方を講師に迎え、将来有望と思われる材料と最先端の技術をご紹介しますので、たいへん聞き応えのある講座となっています。また、横浜での開催は初めてであり、横浜の歴史にも触れたいとの思いから、横浜開港資料館の西川武臣副館長に特別講演をお願いし、横浜の歴史や文化を学ぶことにしました。さらに、夜景美しい横浜港をクルーズするミキサーを用意しましたので、多数のご参加をお待ちいたしております。また、将来のゴムの科学技術を支えてくださる学生会員の方には、たいへん廉価な受講料で参加できる特典も設けましたので、大いにご参加ください。

開催日：2017年7月24日(月)・25日(火)
 場所：講座 かながわ労働プラザ (〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 TEL:045-633-5413)
 ミキサー 横浜港クルーズ
 定員：講座100名 ミキサー50名 いずれも定員になり次第締切ります
 受講料：(6月30日(金)まで) 会員29,160円、会員外45,360円、学生会員5,400円
 シニア14,580円(60歳以上の正会員)
 (7月1日(土)以降) 会員34,560円、会員外45,360円、学生会員5,400円
 シニア17,280円(60歳以上の正会員)

※消費税とテキスト代を含みます。賛助会員・協賛団体会員は2名まで会員扱いとします。

ミキサー(クルーズ代を含む)参加費：7,000円(税込)「横浜市内観光ならびに横浜港クルーズ」
 バスで市内観光ならびに横浜ベイブリッジからの景色を見学後、横浜港のディナークルーズを行います!

申込方法：ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。

送金方法：郵便振替「00190-1-48393」または銀行振込(三井住友銀行日比谷支店(普通)No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)あてにご送金ください(送金手数料は受講者側でご負担ください)。
 一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。

問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第52回夏期講座係 TEL:03-3401-2957 E-mail:srij@srij.or.jp

日時	演題	講師
【7月24日(月)】		
10:30～	開講のあいさつ	一般社団法人日本ゴム協会会長
10:40～11:30	未来を支える新しいシリコンゴム 東レ・ダウコーニング(株) 研究開発部門 応用技術3部 主任研究員 石神 直哉氏	他の有機ゴムとは異なる、ユニークな特性・機能を持つシリコンゴムの最近の光学用途、医療用途等新分野への展開例を紹介し、今後の可能性について述べる。
11:40～12:30	建築免震用積層ゴム支承の現状と今後の動向 元(株)ブリヂストン 免震開発部長 芳澤 利和氏	阪神大震災、東北大震災、熊本地震と大きな地震災害を経験した日本。これらの地震から、建物倒壊と人命を守る建築構法が積層ゴム支承を用いた免震構法である。これら地震時の免震効果を検証しつつ、免震構法の開発史、日本および世界の動向を紹介するとともに積層ゴムの構造・原理・特性・耐久性について解説する。
13:30～14:20	スーパーグロースカーボンナノチューブ/ゴム複合材料による高機能化 日本ゼオン(株) CNT研究所 主任研究員 武山 慶久氏	量産を開始したスーパーグロース法で合成された単層カーボンナノチューブについて、各種ゴムへの複合化事例や応用開発事例などを紹介する。
14:30～15:20	ナノセルロースによるゴムの補強：カーボンナノチューブと比較して 信州大学 カーボン科学研究所 応用工学部門 特任教授 野口 徹氏	将来有望なナノセルロースは、しかし、大きな成功例が未だ見出されていない。カーボンナノチューブと比較して、複合材料としての実用化への道を探る。
15:30～16:30	(特別講演①) 横浜開港と国際都市の歴史 横浜開港資料館 副館長 西川 武臣氏	1859年、横浜は前年に結んだ通商条約にもとづき開港した。その後、横浜は日本を代表する国際都市として発展した。講演では、こうした歴史について紹介する。
17:30～	ミキサー	

【7月25日（火）】

9：30～10：20 誘電エラストマ人工筋肉の現状と未来

千葉科学研究所 代表 千葉 正毅氏

千葉は、米国スタンフォード研究所で、Pelrine等と共に世界で初めて誘電エラストマ人工筋肉を開発したが、最近誘電エラストマ（DE）の開発レベルが格段に上がり、米国・ヨーロッパでは、既に小型のデバイスが発売されている。この分野では、世界を大きくリードしている千葉科学研究所での開発の現状とその未来について講義する。

10：30～11：20 スマートラバー技術をささえる高機能ゴム材料

住友理工(株) 研究開発本部 先行技術研究所 エレクトロデバイス開発室室長 高松 成亮氏

ゴム材料は、自動車、IT関連、鉄道などのインフラ、建築・住環境分野に幅広く活用されている。ゴムの高機能化を図ることでセンサー・アクチュエータに利用できる性能を持ったスマートラバーについて紹介する。

11：30～12：20 医療機器と高分子材料

テルモ(株) 研究開発本部 コアテクノロジーセンター長 川西 徹朗氏

価値の高い医療機器の開発には様々な機能を持つ材料が欠かせず、中でも高分子材料は主要な位置を占める。テルモの主要製品の変遷に沿って、医療機器に必要とされる高分子材料について述べる。

13：20～14：10 世界のゴム事情

(株)加藤事務所 代表取締役社長 加藤 進一氏

世界各国のゴム、タイヤ産業の現状を解説。地域別に特徴のあるゴム材料、ゴム機械や、ゴム材料の需給バランス、今後の開発動向をわかりやすく説明する。

14：20～15：10 タイヤ業界における最近の天然ゴムに関する開発について

住友ゴム工業(株) 材料開発本部 材料企画部 課長 伏原 和久氏

タイヤ業界における最近の天然ゴムに関する研究開発の概要を紹介する。特に植物内でのゴム生合成に関するバイオ研究を中心に、産生する植物の研究、天然ゴムに求められる特性動向など全体像をレビューする。

15：20～16：20 (特別講演②) 自動車における高分子材料の将来

日産自動車(株) 材料技術部 主管 福井 孝之氏

近年の自動車産業を取り巻く環境（社会的責任、新技術開発、顧客満足等）は劇的に変化している。今後の自動車を考える上での外的要因を整理し、高分子材料が目指す方向性について論じたい。

16：20～

閉講のあいさつ

第52回夏期講座運営委員会委員長 斎藤 拓

※プログラムは一部変更になる場合もございます。また、ご宿泊は各自でご手配ください。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いいたします。